

道の駅あらお（仮称）基本計画（案）新旧対照表

パブコメ後		パブコメ前	
表紙 道の駅あらお（仮称）基本計画（案）		表紙 道の駅あらお（仮称）基本計画（素案）	
令和3年4月		令和3年2月	
目次 以下省略		目次 以下省略	
第2章 「道の駅」整備の基本的な考え方 5. 道の駅あらお（仮称）を取り巻く環境の整理 P13 （4）道の駅あらお（仮称）を取り巻く事業環境のまとめ 表 2-3 道の駅あらお（仮称）を取り巻く内部環境		第2章 「道の駅」整備の基本的な考え方 5. 道の駅あらお（仮称）を取り巻く環境の整理 P13 （4）道の駅あらお（仮称）を取り巻く事業環境のまとめ 表 2-3 道の駅あらお（仮称）を取り巻く内部環境	
内部環境	弱み ◆荒尾市の知名度の低さ 省略 ◆製品の供給力の低さ 省略 ◆高齡化の進展 ・国、県を上回る高齡化の進行に伴い、社会保障費の増加や人手不足など様々な問題の発生が懸念されます。	内部環境	弱み ◆荒尾市の知名度の低さ 省略 ◆製品の供給力の低さ 省略 ◆新設
P14 表 2-4 道の駅あらお（仮称）を取り巻く外部環境		P14 表 2-4 道の駅あらお（仮称）を取り巻く外部環境	

外部環境	機会	<ul style="list-style-type: none"> ●有明海沿岸道路の延伸 省略 ●安全・健康等への意識の高まり 省略 ●新型コロナの影響を踏まえた新たな需要 省略 ●「道の駅」第3ステージにおける道の駅への期待 省略 ●南新地地区への道の駅の整備 <p><u>南新地地区において行われる新たなまちづくりの中心的な施設として道の駅あらお（仮称）の整備が期待されている。</u></p>	外部環境	機会	<ul style="list-style-type: none"> ●有明海沿岸道路の延伸 省略 ●安全・健康等への意識の高まり 省略 ●新型コロナの影響を踏まえた新たな需要 省略 ●「道の駅」第3ステージにおける道の駅への期待 省略 ●新設
	脅威	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣のスーパーや産直の立地 省略 ●道の駅の増加に伴う競争激化 省略 ●新型コロナの影響による消費行動の変化 省略 ●少子高齢化の進展 <p><u>・少子高齢化の進展に伴う人口減少に起因して、消費者の減少による経済の縮小や生産年齢人口の減少による深刻な人手不足などが問題となっています。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●核家族化の進展 <p><u>・高齢単身世帯の増加とそれに伴う孤独死、要介護者の増加と介護を行う者の負担増、買い物難民の増加などが問題となっています。</u></p> <p><u>・相談相手や地域内における交流が希薄になることによって、子育てに対する不安や、孤独化などが問題となっています。</u></p>		脅威	<ul style="list-style-type: none"> ●近隣のスーパーや産直の立地 省略 ●道の駅の増加に伴う競争激化 省略 ●新型コロナの影響による消費行動の変化 省略 ●新設 ●新設

6. コンセプトを具体化する戦略及び魅力づくりの方向性

(1) コンセプトを具体化する戦略

P17

戦略③あらゆる世代が活躍する舞台としての地域センター・居場所づくり

新たな時代の道の駅には～省略

道の駅を核とした、市民や来訪者の活躍や交流の場を形成するとともに、ウェルネスタウンが目指す健康なライフスタイルや、市民がいきいきと活躍できる場を提供することで、市民の荒尾市への愛着が深められ、シビックプライド（※1）が醸成されます。シビックプライドが醸成されることで、人々が自らまちに関りを持つと思うようになり、その関りを通して、人と人が繋がり、市民のソーシャルキャピタル（※2）の向上につながります。ソーシャルキャピタルの向上は、治安、衛生（健康）、教育の向上に効果があると言われており、そのことによつて、誰もが安心して暮らせる世の中がもたらされます。

※1 シビックプライド：市民の荒尾市に対する誇りやプライドが育まれることによつて、自ら地域のために何かを成し遂げたいという思いで行動を起こすこと。

※2 ソーシャルキャピタル：人々の協調行動を活発にすることによつて、社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴。

ソーシャルキャピタルが豊かなら、市民活動への参加が促進される可能性があり、市民活動の活性化を通じて、ソーシャルキャピタルが培養される可能性がある。（厚生労働省資料より）

P18

(2) 魅力づくりの方向性

コンセプト及びコンセプトを具体化する戦略を踏まえ～省略

●方向性3：魅力ある「ゲートウェイ」を形成し～省略

・道の駅あらお（仮称）は、熊本県における～省略

6. コンセプトを具体化する戦略及び魅力づくりの方向性

(1) コンセプトを具体化する戦略

P17

戦略③あらゆる世代が活躍する舞台としての地域センター・居場所づくり

新たな時代の道の駅には～省略

道の駅を核とした、市民や来訪者の活躍や交流の場を形成するとともに、ウェルネスタウンが目指す健康なライフスタイルや、市民がいきいきと活躍できる場を提供することで、市民が荒尾市への愛着を深め、シビックプライド（※）を育むことで、誰もが活躍する世の中を目指します。

※1 シビックプライド：市民の荒尾市に対する誇りやプライドが育まれることによつて、自ら地域のために何かを成し遂げたいという思いで行動を起こすこと。

※2 新設

P18

(2) 魅力づくりの方向性

コンセプト及びコンセプトを具体化する戦略を踏まえ～省略

●方向性3：魅力ある「ゲートウェイ」を形成し～省略

・道の駅あらお（仮称）は、熊本県における～省略

・道の駅あらお（仮称）は、様々な人の集まる場所という事に加え、そこに集う人たちの交流による新たな価値を創造していきます。

・また、有明海沿岸道路は、物流拠点施設をつなぐ～省略

7. ターゲット設定

(1) 省略

(2) 省略

P20

(3) ターゲット設定

道の駅ファンの期待に応えるサービスの提供を基本とし、道の駅あらお（仮称）の特色をだしていくために、アンケート結果及び世代別の消費行動の価値観の特徴、さらには事業コンセプト等との整合の観点から、重点ターゲットを以下のとおり設定します。

第3章 導入機能・施設

P23

1. 導入機能及び施設テーマ

道の駅あらお（仮称）は、利用する人や働く人、出荷する人などが快適で効率的に利用できるような施設、環境に配慮した施設（ZEB への取り組みなど）の整備を行います。

道の駅あらお（仮称）で想定する導入機能及び施設テーマについて、コンセプトやターゲット等を踏まえ、以下のとおり整理しました。

表 3-1 導入機能及び施設テーマ

地域 連携	物販	省略
	飲食	省略
	交流	・省略 ・省略

・新設

・また、有明海沿岸道路は、物流拠点施設をつなぐ～省略

7. ターゲット設定

(1) 省略

(2) 省略

P20

(3) ターゲット設定

アンケート結果及び世代別の消費行動の価値観の特徴、さらには事業コンセプト等との整合の観点から、重点ターゲットを以下のとおり設定します。

第3章 導入機能・施設

P23

1. 導入機能及び施設テーマ

コンセプト、ターゲット等を踏まえ、道の駅あらお（仮称）で想定する導入機能及び施設テーマは、以下のとおりです。

表 3-1 導入機能及び施設テーマ

地 域 連 携	物販	省略
	飲食	省略
	交流	・省略 ・省略

	<ul style="list-style-type: none"> ・省略 ・<u>地域を知る、環境を知る、歴史を知る学習の場</u>
情報発信	省略
休憩	省略
防災	省略

2. 施設ごとの特色

(1) 地域連携機能

- 1) 物販
省略

P25

2) 飲食

施設 テーマ	特色	魅力づくりの方向性			
		方向性 1	方向性 2	方向性 3	方向性 4
有明の幸をゆっくりに楽しむレストラン	省略	・ <u>宿泊施設</u> (ホテル) と連携し 食を通し	・ <u>物販施設</u> で購入し た食材を その場で 調理して 提供(グロー ーサラン ト等)	省略	省略
有明の幸が気軽に楽しめるフードコート	省略	た荒尾の 魅力の体 験を提供	・省略 ・省略 ・省略	・省略 ・省略 ・省略	・省略 ・省略 ・省略
有明の幸を気軽に帰りにできるテイクアウト機能	省略	・省略 ・省略 ・省略	・省略 ・省略 ・省略	・省略 ・省略 ・省略	・省略 ・省略 ・省略
夕陽を眺めながら、多世代が憩う居場所	省略		・省略 ・省略		

	<ul style="list-style-type: none"> ・省略 ・<u>新設</u>
情報発信	省略
休憩	省略
防災	省略

2. 施設ごとの特色

(1) 地域連携機能

- 1) 物販
省略

P25

2) 飲食

施設 テーマ	特色	魅力づくりの方向性			
		方向性 1	方向性 2	方向性 3	方向性 4
有明の幸をゆっくりに楽しむレストラン	省略	・ <u>新設</u> ・省略 ・省略 ・省略	・ <u>新設</u> ・省略 ・省略 ・省略	省略	省略
有明の幸が気軽に楽しめるフードコート	省略	・省略 ・省略 ・省略	・省略 ・省略 ・省略		
有明の幸を気軽に帰りにできるテイクアウト機能	省略				
夕陽を眺めながら、多世代が憩う居場所	省略				

3) 交流						3) 交流					
施設 テーマ	特色	魅力づくりの方向性				施設 テーマ	特色	魅力づくりの方向性			
		方向性 1	方向性 2	方向性 3	方向性 4			方向性 1	方向性 2	方向性 3	方向性 4
交流から賑わいを創出する全天候型の大屋根広場	省略	・省略 ・省略 ・ <u>周辺施設</u> を <u>活用</u> したサークル活動の	・省略 ・省略 ・ <u>市民による</u> 地域の <u>食材</u> を使った加工	・省略 ・省略 ・ <u>市民による</u> 地域の <u>観光案内</u> 、	省略	交流から賑わいを創出する全天候型の大屋根広場	省略	・省略 ・省略 ・ <u>新設</u>	・省略 ・省略 ・ <u>新設</u> ・ <u>新設</u> ・ <u>新設</u> ・ <u>新設</u>	・省略 ・省略 ・ <u>新設</u>	省略
快適な移動手段の実現を目指したスマートモビリティの発着地、有明海沿岸をめぐるサイクリング基地等のモビリティステーション	省略	<u>活動拠点</u>	<u>品</u> や料理の <u>開発</u> ・ <u>地元の食文化の検証と継承</u> ・ <u>地元の人</u> が遠くから来たお客さんと、 <u>特産品等の販売</u> という行動によって、 <u>知り合ったり話を</u> するなど	<u>体験プログラムの提供</u>		快適な移動手段の実現を目指したスマートモビリティの発着地、有明海沿岸をめぐるサイクリング基地等のモビリティステーション	省略				
<u>市民の活躍・生きがい</u> の場・ <u>コミュニティ</u>	<u>【サービス】</u> 集まりやすい <u>イース</u> や <u>テラス</u>		<u>交流</u> できる。 ・ <u>子ども</u> た			<u>新設</u>	<u>新設</u>				
						<u>新設</u>	<u>新設</u>				

<p><u>イ 醸成の場</u></p>	<p><u>ブルの配置、自由に使える掲示板の設置</u> <u>住民の楽しみを提供できるスペースの整備</u> <u>【空間】</u> <u>様々な人が集まりやすく、新たな交流が生まれるような場所の提供</u> <u>【価値】</u><u>シビックプライドが醸成され、市民のソーシャルキャピタルが向上すること</u></p>	<p><u>ちへの環境学習や地域文化の伝承</u></p>			
----------------------	--	-------------------------------	--	--	--

	による幸福感の増大					
地域を知る、環境を知る、歴史を知る学習の場	<p>【サービス】情報発信機能と併せて、荒尾の名所や資源、歴史などをともに学ぶ機会や場所を提供</p> <p>【空間】サークル活動の活動拠点、荒尾のことを学ぶ拠点</p> <p>【価値】市民のシビックプライドの醸成と、市外の荒尾ファンの獲得</p>					

(2) 情報発信機能

施設 テーマ	特色	魅力づくりの方向性			
		方向性 1	方向性 2	方向性 3	方向性 4
様々なニーズをスマートにマッチングする、旅ナカコンシェルジュ	省略	・省略	・省略 ・省略 ・子どもたちへの環境学習や地域文化の伝承	省略	省略
荒尾と熊本の旅を提案	省略				
荒尾のファンになりたいような素敵な情報の発信	省略				
快適なドライブや安全・安心な市民生活を支える情報発信	省略				

(2) 情報発信機能

施設 テーマ	特色	魅力づくりの方向性			
		方向性 1	方向性 2	方向性 3	方向性 4
様々なニーズをスマートにマッチングする、旅ナカコンシェルジュ	省略	省略	・省略 ・省略 ・新設	省略	省略
荒尾と熊本の旅を提案	省略				
荒尾のファンになりたいような素敵な情報の発信	省略				
快適なドライブや安全・安心な市民生活を支える情報発信	省略				

(3) 休憩施設
以下省略

第4章 配置計画

1. ゾーニング・動線計画の基本的な考え方
省略

P40

2. 施設配置の考え方

主な施設	考え方
レストラン・ フードコート	省略
カフェ	省略
ショップ等	集客性を確保するため、大屋根広場に隣接する1階に配置する。 自然に上の階に足を運んでもらえるような工夫。(一部を2階に配置し、スキップフロア等の空間演出で空間的な連続性を高める等) <u>飲食機能との連携を考慮した配置とする。</u>
大屋根	省略
トイレ等	省略
防災	省略
その他	省略

第5章 事業計画

1. 概算事業費
省略

2. 収支シミュレーション
省略

(3) 休憩施設
以下省略

第4章 配置計画

1. ゾーニング・動線計画の基本的な考え方
省略

P40

2. 施設配置の考え方

主な施設	考え方
レストラン・ フードコート	省略
カフェ	省略
ショップ等	集客性を確保するため、大屋根広場に隣接する1階に配置する。 自然に上の階に足を運んでもらえるような工夫。(一部を2階に配置し、スキップフロア等の空間演出で空間的な連続性を高める等)
大屋根	省略
トイレ等	省略
防災	省略
その他	省略

第5章 事業計画

1. 概算事業費
省略

2. 収支シミュレーション
省略

3. 事業手法
別紙参照

3. 事業手法
別紙参照